

【普通科】 1年次 【必修】 科目 「コミュニケーション英語Ⅰ」 授業のシラバス

1 概要

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	3単位(156)
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 NEMURO HIGH SCHOOL CAN-DO LIST の STAGE2 を目標とする。				
教科書 (出版社)	Vivid English CommunicationⅠ NEW EDITION (Daichi Gakushusha)		副教材 (出版社)	DataBase3000 基本英単語熟語 5th Edition Zoom English Grammar 27 Lessons Second Edition (Daichi Gakushusha)	

2 学習の方法

(1) 予習について

教科書を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の新出単語や新出熟語を調べるなど事前に取り組んでください。はじめは中学校で学んだ内容がたくさん出てくるので、予習よりも復習が中心になります。

(2) 授業について

コミュニケーション英語Ⅰの授業は、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4技能を総合的に学習していきます。各単元の内容に基づき、多様な場面における言語活動を行います。繰り返し学ぶことで、知識の定着を図っていきます。また、副教材を用いて、英語の基礎となる単語の力や文法の知識を深めていきます。また、パフォーマンステストを通して、Writing や Speaking の力を図ります。

(3) 復習について

新しく学んだものは必ずその日のうちに復習してください。新しい言葉を理解し使えるようになるには、毎日の繰り返しが必要です。教科書の本文や、新出単語の音読、書き取りや問題集の解き直しなど、様々な側面から復習し、定着を図りましょう。

〈学習アドバイス〉

皆さんにとっての英語が「できる」とは何でしょうか。単語をたくさん覚えていたり、テストで良い点数がとれたりするのでしょうか。もちろん知識としての英語もとても大切な物です。しかし、それだけでは英語は「できる」ようにはなりません。英語を学問としてではなく、ことばとしてとらえていくことが上達への第一歩ではないかと思います。英語をたくさん聞いて、読んで、話して、書いて...と繰り返していく内に自然と英語が使えるようになっていきます。その変化はとても小さくて、途中であきらめそうになってしまうこともあります。英語が「できる」ようになった自分を想像して、コツコツがんばりましょう。英語を使って活躍している自分を想像すると、ちょっとカッコイイ気がしませんか？

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
② 外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
③ 外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
④ 言語や文化への知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト	Attitude	Lesson Quiz	Individual Work	Pair/Group Work
	割合						
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○		○	○
② 外国語表現	25%	○	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通して、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語理解	25%	○	「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化についての知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業は基本的に All English で行います。
- ・提出物等の期日は必ず守って下さい。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出て下さい。
- ・積極的に授業に参加する姿勢を持って下さい。

【普通科】 1年次 【必修】 科目 「コミュニケーション英語Ⅰ」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	Lesson1 You Can Do Something for the Olympics	15	現在・過去/助動詞 (can,may,must)/未来 (will, be going to)	全てのレッスンで①～④を総合して評価します。	<各単元における評価の観点> ① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的な姿勢で行うことができる。 ② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、自分の意見や考えを適切に表現することができる。 ③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、相手の考えや情報を的確に理解できる。 ④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語という言葉の特性を理解できる。	前期中間考査
5	Lesson2 Stories behind Names	15	進行形(現在・過去)/不定詞の3用法 /S+V+O(=That-節)			
6	Lesson3 Look Cool on Your Street	15	動名詞/現在完了形/受け身(現在・過去)			
7						
8	Lesson4 Our Action Can Make Electricity	15	比較/S+V+O+to-不定詞/疑問詞+to-不定詞			
9	Lesson5 Laughter Is the Best Medicine	16	現在分詞/過去分詞/関係代名詞(主格)			
後期 10	Lesson6 Take a Chance on You	16	関係代名詞(目的格)/It is ... (for A) to~/過去完了形/関係代名詞 what			
11	Lesson7 Japanese Dishes from Abroad	16	S+V(=be-動詞)+C(=that-節)/現在完了進行形/S+V+O(=疑問詞節)/It is+形容詞+that-節			
12	Lesson8 The Sphinx in Danger	16	関係副詞(where,when)/関係副詞(why,how)/S+V+O+O(=that-節/S+V+O+O(=疑問詞節)			
1						
2	Lesson9 A Bridge Between Japan and the U.S.	16	強調構文/S+V+O+C(=原型不定詞)/助動詞+受け身/S+V+O+C(=現在分		後期中間考査	
3	Reading Education First!	16				後期期末考査
		計 156				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は表現する能力、③は理解する能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。